

百合が丘、緑が丘地区の路線バス減便への対応と  
中長期的な地域交通対策についての要望書

令和8年3月

二宮町長 村田 邦子 様

緑が丘自治会 会長 田口謙吉  
百合が丘地区社協部会 部会長 小笠原陶子  
一色・緑が丘地区社協部会 副部会長 古矢俊雄  
一色小学校区元気なコミュニティ協議会 会長 廣上正市

日頃より、町政運営ならびに地域課題へのご尽力に深く敬意を表します。

私どもは百合が丘、緑が丘地区の社協部会、緑が丘自治会、および一色小学校区内団体が連携して地域課題に取り組む組織体です。

ご承知のように、神奈川中央交通株式会社はこの2年間に百合が丘、緑が丘地区とJR東海道線二宮駅を結ぶバス便の大幅減便を実施しております。この度はこれらに加え、来春をめどにさらなる減便と路線再編の意向を二宮町に提起したと聞いております。

言うまでもなく当該バス路線は、百合が丘、緑が丘地区における

- ・東京・横浜・小田原方面への通勤・通学
- ・高齢者等の通院、買い物、社会参加

を支える公共性の高い基幹的な交通手段です。その度重なる縮小は、住民の生活や町外就業先への勤務継続、町北部住宅街での安定居住そのものに重大な影響を及ぼすと強く懸念しております。

つきましては、下記の点について、町として確たる関与と対応を強く要望致します。

記

1. 来春に予定されている基幹交通の更なる減便について実施の見送り、凍結を求めます。  
少なくとも、町、神奈川中央交通、地域住民による協議の場が設けられ、影響や代替策について十分な検討が行われるまで、一方的な減便が行われないよう町として関与していただくことを要望します。
2. 町を主体とした三者協議の場の設置を求めます。  
二宮町、神奈川中央交通、当該住民代表による協議の場を早急に設け、現状認識の共有と今後の方向性についての話し合いを始めるよう要望します。
3. 中長期的な地域交通の再設計に着手することを求めます。  
通勤時間帯における最低限の輸送確保、デマンド交通等の代替手段の併存、財政支援の在り方などを含め、町外就業を前提に開発された百合が丘、緑が丘地区住宅街、

および神奈川県西部における大都市近郊のベットタウンとして役割を担ってきたこのエリアの将来を見据えた交通政策の検討を開始していただくことを要望します。

今回、この要望書をまとめるに至った各団体は、地区内基幹交通の利用促進や住民間の合意形成など、地域ぐるみでの可能な協力を惜しまない所存です。対立ではなく、協働による課題の克服を強く望んでおります。

なにとぞ、本要望の趣旨を理解いただき、早期の対応と要望に対する回答を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上